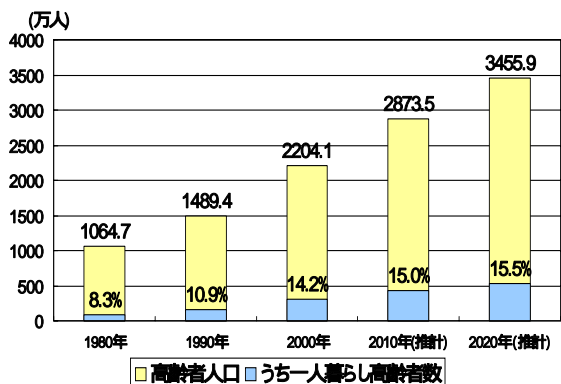


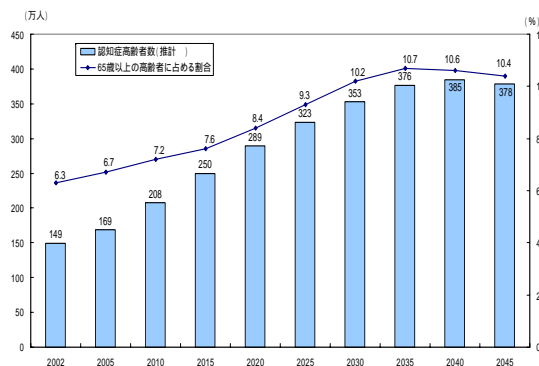
- (1) 国内人口減少局面へのシフト - 高齢化社会 -

- ◆ 本格的な高齢化社会を迎え、高齢期の生活に対する不安が顕在化。要介護者、認知症高齢者数は確実に増加。
- ◆ 国全体の社会保障給付費も増加を続ける傾向。

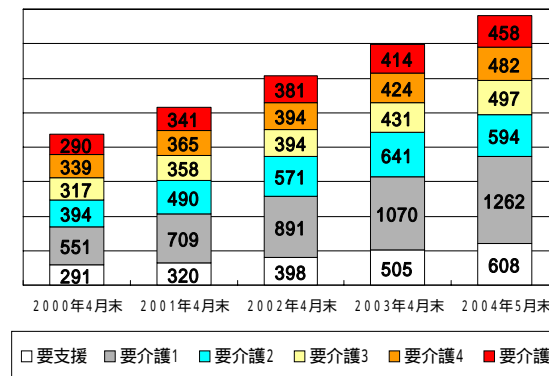
高齢者人口に占める一人暮らし高齢者数



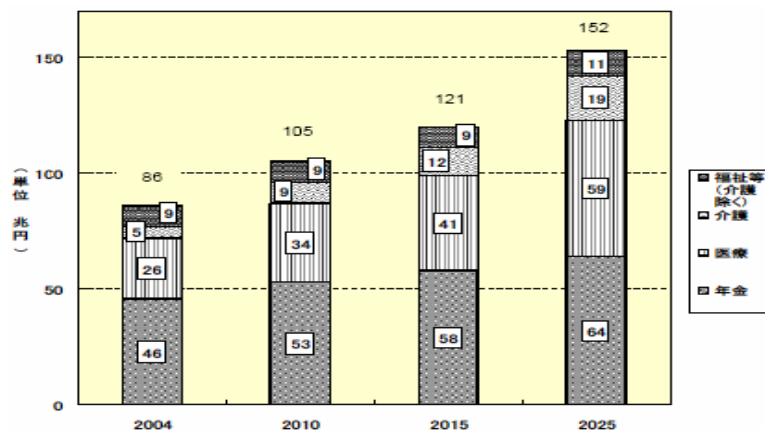
認知症高齢者数の将来推計



要介護度別認定者数の推移



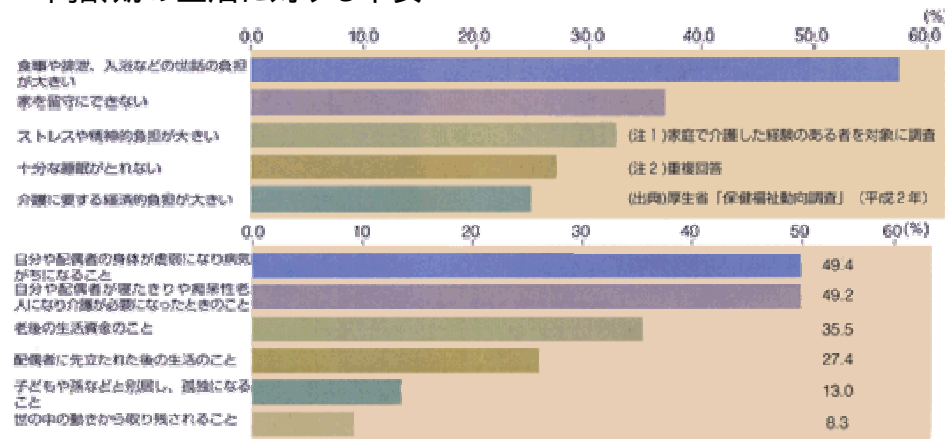
社会保障給付費の推移の見通し



(備考) 1. 厚生労働省「社会保障の給付と負担の見通し(2004年5月推計)」により作成
2. 2004年度の金額は予算ベース

(出所: 経済財政諮問会議)

高齢期の生活に対する不安



(出所: 総理府)

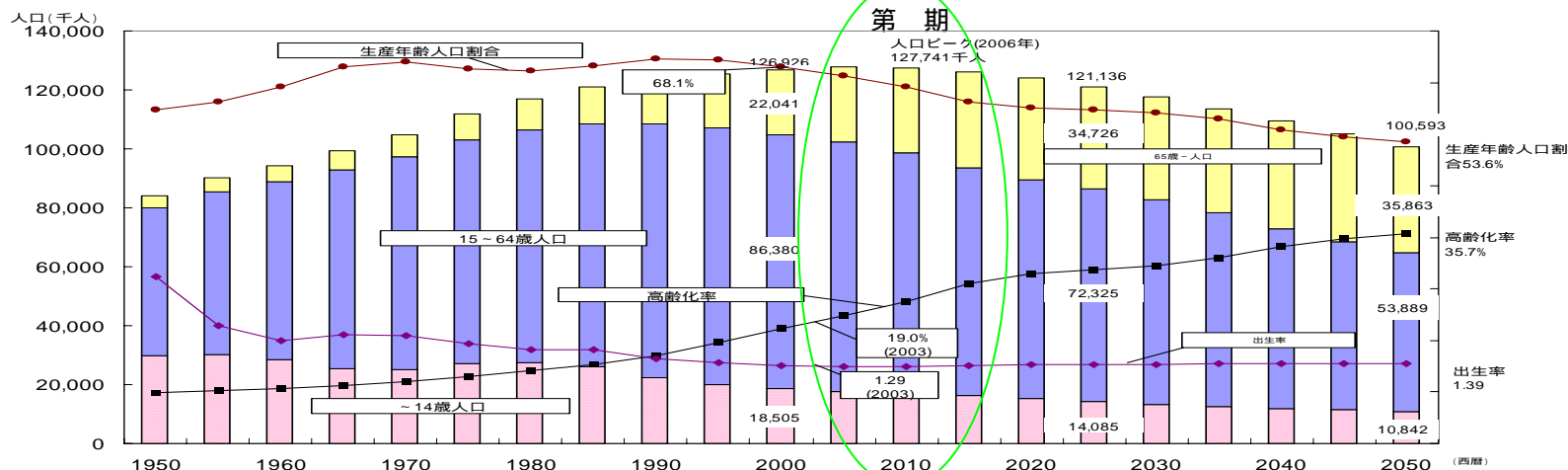
- (1) 国内人口減少局面へのシフト - 持続可能な社会保障制度の構築 -

- ◆ 制度の充実と高齢化の進展が相まって、社会保障給付の規模は大きく拡大。
- ◆ 高齢化と少子化による生産人口割合の減少の中で、将来的に持続可能な社会保障制度の構築が必要。

社会保障費給付費の規模拡大

- ・ この30年間に対国民所得比で約4.1倍に拡大 給付規模約86兆円は、一般会計予算の規模(約82兆円)を上回る
- ・ 1人当たり給付費は、年間67万1,800円

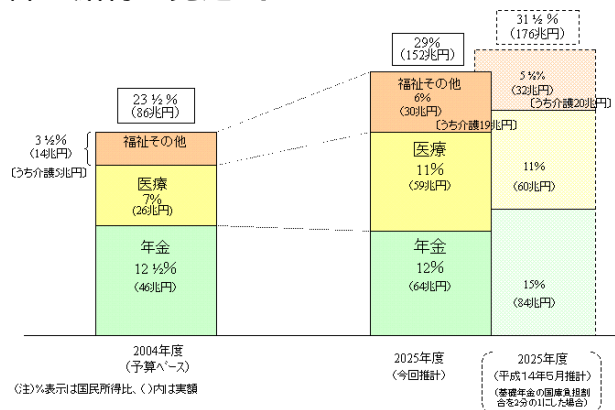
高齢化と少子化による生産人口の減少



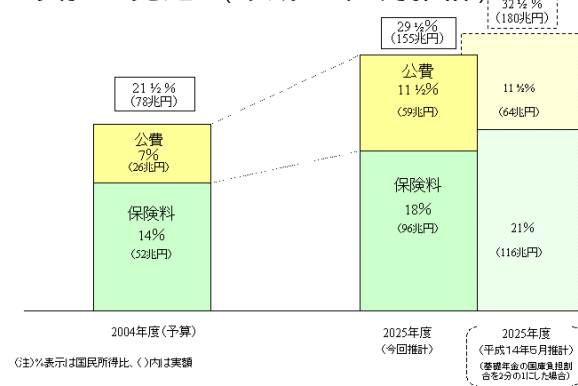
資料: 2000年までは総務省統計局「国勢調査」、2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)中位推計」

(出所: 厚生労働省)

社会保障の給付の見通し



社会保障の負担の見通し(平成16年5月推計)



(出所: 厚生労働省)